

第 1 1 7 回

中小企業景況調査報告書

〔平成20年 7月～ 9月期実績〕
〔平成20年10月～12月期予測〕

平成20年10月
群馬県商工会連合会

中 小 企 業 景 況 調 査 要 領

1. 調査の目的

この調査は、商工会地区内の小規模企業の経営動向とその特性を継続的に把握し、その分析結果により、商工会の経営回復普及事業が効果的に実施されることを目的としている。

なお、本報告書のD・I値とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index、景気動向指数) の略であり、増加 (上昇・好転・長期化) 企業割合から減少 (低下・悪化・短期化) 企業割合を差し引いた値を示すものである。

D・Iがプラス (+) なら……強気 (楽観)

D・Iがマイナス (-) なら……弱気 (悲観)

(例) 売上高で増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、

D・I指数…… $50\% - 20\% = 30\%$

となり、全体としての経営者の売上に対する強気の度合いを表している。

2. 調査期間

今回は、平成20年9月1日を調査時点とし、期間は平成20年7月～平成20年9月期である。

3. 調査方法

調査対象企業への商工会経営指導員による聞き取り面談調査による。

4. 調査実施商工会別の調査対象企業数及び回収率

商工会名 (人口:人) 平成17年12月1日現在	調査対象企業	製造業	建設業	小売業	サービス業
渋川市赤城 (11,935)	15	3	3	6	3
桐生市黒保根 (2,610)	15	3	3	4	5
渋川市子持 (11,723)	15	4	5	3	3
群馬伊勢崎 (73,307)	15	3	3	4	5
上野村 (1,522)	15	4	3	4	4
下仁田町 (9,514)	15	3	3	4	5
東吾妻町 (14,494)	15	3	3	5	4
草津町 (7,276)	15	3	3	4	5
川場村 (4,191)	15	4	2	5	4
玉村町 (38,163)	15	3	3	4	5
合計 (構成比%)	150 (100%)	33 (22.0%)	31 (20.7%)	43 (28.7%)	43 (28.7%)
回答企業数	150	33	31	43	43
回収率 (%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※桐生市黒保根は、平成17年6月1日の人口

下仁田町、草津町は、平成18年4月1日推計の人口

5. 業種別構成

(1) 製造業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
食料品	5	15.2
飲料・たばこ・飼料	1	3.0
繊維	1	3.0
木材・木製品	3	9.1
家具・装備品	7	21.2
印刷・同関連業	2	6.1
プラスチック製品	1	3.0
窯業・土石製品	2	6.1
金属製品	2	6.1
はん用機械器具	1	3.0
業務用機械器具	2	6.1
電気機械器具	2	6.1
輸送用機械器具	3	9.1
その他	1	3.0
合 計	33	100.0

(2) 建設業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
総合工事業	17	54.8
職別工事業	10	32.3
設備工事業	4	12.9
合 計	31	100.0

(3) 小売業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
織物・衣服・身の回り品	3	7.0
飲食料品	20	46.5
機械器具	2	4.7
その他小売業	18	41.9
合 計	43	100.0

(4) サービス業







業 種 内 訳	企業数	構成比%
道路貨物運送業	2	4.7
技術サービス業	1	2.3
宿泊業	8	18.6
飲食店	15	34.9
洗濯・理容・美容・浴場	8	18.6
その他の生活関連	1	2.3
娯楽業	2	4.7
その他の教育・学習支援	1	2.3
自動車整備業	5	11.6
合 計	43	100.0

群馬県全産業の景況概況

































今期（平成20年7月～9月期）の各産業売上高（完成工事高）D I 値に見る業況判断は、製造業：▲9.4→▲15.6、建設業：▲19.3→▲32.3、小売業：▲32.5→▲41.8、サービス業：▲11.7→▲20.9となった。いずれの業種も悪化判断であり、建設業は大幅な悪化、製造業、小売業、サービス業は悪化傾向であった。製造業とサービス業は悪化傾向とは言え曇の景況で、建設業と小売業は雨の景況となった。

来期（平成20年10月～12月期）予想では、製造業は▲15.6→▲15.7とほぼ横ばいの見通し、建設業は▲32.3→▲38.7と悪化の見通し、サービス業は▲20.9→▲25.6と小幅な悪化の見通しであった。一方で、小売業は▲41.8→▲23.3と大幅な回復の見通しとなった。

凡例

D I 値	100.0 ～ 30.1	30.0 ～ 10.1	10.0 ～ ▲10.0	▲10.1 ～ ▲30.0	▲30.1 ～ ▲60.0	▲60.1 ～ ▲100.0
表 示						
内 容	快晴	晴	薄曇	曇	雨	大雨

売上高（完成工事高）にみる各産業DI値（前年同期比）の推移

年月 業種	平成 18 年度			平成 19 年度			平成 20 年度			
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
製造業										
建設業										
小売業										
サービス業										

平成 20 年 7 月 1 日付群馬経済研究所発表資料では、県内の全体的な景気状況を「**県内景気は、やや弱含んでいる。**」としている。

〔個人消費〕⇒乗用車販売は前年比増加の一方、大型小売店販売は 4 ヶ月連続で減少し、**やや弱含み。**

- ・ 6 月の百貨店・スーパー合計の大型小売店販売額（新設店含み）は前年比 1.6%減と 4 ヶ月連続で前年を下回った。内訳では、飲食料品が増加、衣料品、その他は減少した。
- ・ 7 月の乗用車販売台数は、前年比 6.9%増と 2 ヶ月連続で前年を上回った。内訳は普通車が 13 ヶ月連続で、小型車は 2 ヶ月連続で、ともにプラス。また、軽乗用車が再びプラスに転じた。

〔生産活動〕⇒**鉱工業生産指数は前月比で再び低下に転じ、弱含んでいる。**

- ・ 6 月の鉱工業生産指数は、前月比（季節調整済指数）で 1.6%低下し、前年比（原指数）では 3.2%低下した。
- ・ 前月比では金属製品工業（軽金属製飲料用缶）、プラスチック製品工業（プラスチック製容器など）等が上昇した一方で、輸送機械工業、電気機械工業（半導体・IC 測定器など）等が低下。
- ・ 輸送機器は、普通乗用車やステアリング装置などの減少により低下に転じた。
- ・ 電気機器は、電気機械、情報通信機械、電子部品・デバイスのいずれも前月比低下。
- ・ 繊維は、桐生繊維で主力の婦人服地や和装品の売上が低調に推移。太田ニットはマイナス基調。

〔住宅投資〕⇒**新設住宅着工戸数は再び前年比で減少に転じ、弱含んでいる。**

- ・ 6 月の住宅着工戸数は 1,371 戸、前年比 16.9%減と再び前年を下回り、弱含んでいる。
- ・ 主力の持家が着工戸数 729 戸、前年比 6.2%減と 2 ヶ月連続でマイナス。
- ・ 貸家は着工戸数 480 戸、前年比 15.3%減と再びマイナス。
- ・ 分譲住宅は着工戸数 138 戸、前年比 54.3%減と再びマイナス。うちマンションはゼロで 147 戸減、一戸建は前年比 11.0%減。

〔公共投資〕⇒**請負金額は再び前年割れに転じ、低調に推移している。**

- ・ 7 月の公共工事請負額は前年比 5.2%減と再び前年を下回った。内訳は国、独立行政法人等がプラスの一方、県、市町村などがマイナス。

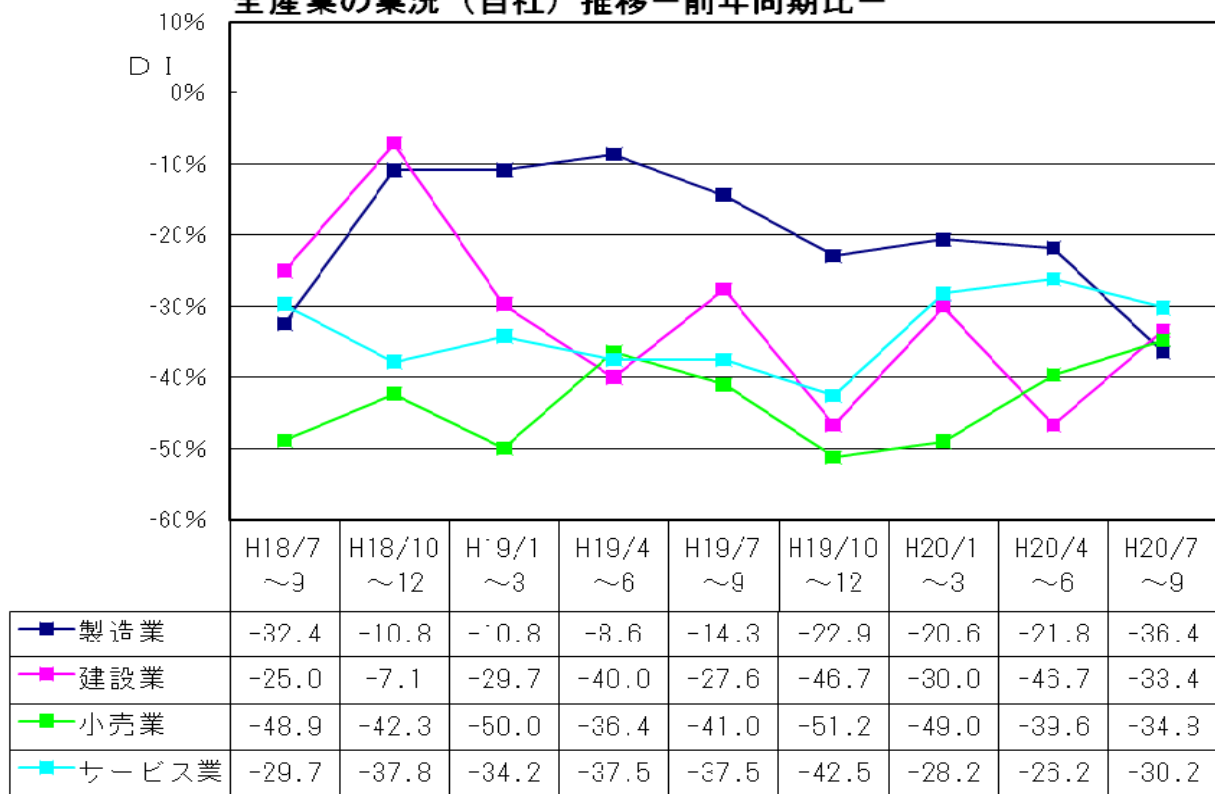
〔雇用情勢〕⇒**有効求人倍率は再び前月比上昇に転じたものの、弱含み。**

- ・ 6 月の有効求人倍率（季節調整値）は前月を 0.11 ポイント上回る 1.37 倍となり、全国順位は再び 2 位に上がった。
- ・ 新規求人数は、前年比 7.5%減と 4 ヶ月連続のマイナス。卸・小売業、医療・福祉業がプラスの一方で、サービス業、製造業などはマイナス。新規求職者数は前年比 6.5%増。

〔企業倒産〕⇒**件数は前年比 5 件増加の 14 件、負債総額は 66 億 8600 万円。**

- ・ 7 月の企業倒産は 14 件で前年比 5 件の増加。負債総額は前年の 3.1 倍の 66 億 8600 万円。
- ・ 業種別では、建設業が 8 件、製造業が 3 件、サービス業が 2 件、運輸業が 1 件。

全産業の業況（自社）推移—前年同期比—



全産業の売上高推移—前年同期比—

